

謹啓

初夏の候、会員各位におかれましては、益々ご清祥にてお過しのことと存じ上げます。平成27年度密教研究会学術大会を、来る7月10日(金)・11日(土)の両日にわたり、高野山大学において開催致します。

今年度は今年度は、高野山開創1200年ならびに宥快・長覚600年御遠忌を記念して、榊義孝先生(大正大学名誉教授)・松長有慶先生(高野山大学名誉教授/高野山金剛峯寺前座主)による記念講演会も開催いたします。奮ってご参加いただけますよう御案内申し上げます。

合掌

平成27年6月
密教研究会会長 武内 孝善

密教研究会事務局

〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385 高野山大学内
TEL 0736(56)2921(代) FAX 0736(56)2980(代)

平成27年度

密教研究会学術大会

高野山開創1200年

宥快・長覚600年御遠忌記念大会

日時:平成27年7月10日(金)・11日(土)
場所:高野山大学

7月10日(金)

【午前の部】 第一会場 (2F 第3会議室 9:30～12:00)

- ・東密における『弁顕密二教論』の受容—「不同報身毘盧遮那」解釈を中心に—
土居夏樹 (高野山大学助教)
- ・京都毘沙門堂所蔵『篆隸文體』校訂研究—「古今文字韻」との比較を中心に—
大柴清圓 (密教文化研究所専任研究員)
- ・悪瘡と空海の病
八木高秀 (密教文化研究所受託研究員)
- ・「恵果碑文」の原文について
高柳健太郎 (高野山大学大学院博士課程)
- ・「贈伴按察平章事赴陸府詩并序」に於ける『便蒙』の注釈の検討
中谷征充 (密教文化研究所受託研究員)
- ・入定留身信仰と藤原道長
武内孝善 (高野山大学名誉教授)

第二会場 (2F 第2会議室 9:30～12:00)

- ・瑜伽行派における五種姓説の成立—瑜伽行派の註釈文献を中心として—
岡田英作 (京都大学非常勤講師、密教文化研究所受託研究員)
- ・『中観五蘊論』における諸法解説の性格—基礎教学としてのアビダルマ論の位置づけをめぐって—
横山剛 (京都大学大学院博士後期課程)
- ・インド密教における「秘密集会」系のバリ儀軌について
菊谷竜太 (東北大学)
- ・サキヤ南寺再訪—補充調査の報告—
加納和雄 (高野山大学准教授)
- ・『十地経』(*Daśabhūmikasūtra*)の「唯心」(*cittamātra*)と「大悲」(*mahākaruṇā*)
室寺義仁 (滋賀医科大学教授)
- ・金剛手の図像的展開—「理趣経」「大樂の法門」の重説を中心に—
田中公明 (中村元東方研究所専任研究員)

理事会 (1F 第1会議室 12:00～13:00)

【午後の部】 第一会場 (2F 第3会議室 13:30～17:00)

- ・記念講演 1 真言宗の論義について—新義の論義を中心に—
講師 榊義孝先生 (大正大学名誉教授)
- ・記念講演 2 近世の密教評価の変遷
講師 松長有慶先生 (高野山大学名誉教授／高野山金剛峯寺前座主)

総会 (2F 第3会議室 17:00～) 懇親会 (17:30～)

7月11日(土)

【午前の部】 第一会場 (2F 第3会議室 9:30～12:30)

- ・密教の「法身説法」とキリスト教の「ロゴス」の比較考察
廣畑涙嘉 (高野山大学大学院修士課程修了)
- ・高野山麓「禿」に関する一考察—高野曼荼羅の展開として—
富田弘子 (高野山大学大学院修士課程修了)
- ・両部大法・三部大法と『蘇悉地経』の歴史的意義について
磯部武男 (高野山大学大学院修士課程修了)
- ・宥快の「圓音」解釈について
沼野直子 (密教文化研究所受託研究員)
- ・宥快の著作における「一処御釈」
林山まゆり (早稲田大学非常勤講師)
- ・綵画形像について—論義書を中心に—
北川真寛 (密教文化研究所委託研究員)

第二会場 (2F 第2会議室 9:30～12:30)

- ・『ガリム・チェンモ』における楽空無差別について
石部道明 (密教文化研究所受託研究員)
- ・*Sarvavajrodāya*の前行儀軌について
伊集院栞 (東京大学大学院博士課程)
- ・『無濁タントラ』に関する一考察—東大写本に基づく梵文校訂を中心に—
大観慈聖 (京都大学大学院修了)
- ・真言宗と「喇嘛教」—岩鶴密雲を中心に—
高本康子 (北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター)
- ・インド仏教終焉と周縁地におけるガナチャクラ
静 春樹 (高野山大学非常勤講師)

※発表時間は20分、質問時間は5分です。

※総会を欠席される方は、必ず委任状をご提出ください。

※懇親会費は1名3,000円をご負担いただきます。当日受付にてお支払ください。

会場は大学ホール (大学食堂) です。